

2008 年度

科目名 総合講座Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 高橋 圭一
授業テーマ 江戸の漫画に注を付ける。		
授業の概要と目標 天明文学の華、黄表紙の代表的作品をいくつか選んで、全員で少しずつ分担しながら読み進める輪読（りんどく）形式で授業を行います。最初に高橋が黄表紙について概説し、発表の見本を示し、段々と参考書を紹介してゆきます。それらの参考書に眼を通した上で、注釈に使える本（工具書と言います）を図書館中から探し出してください。文献だけでなく絵にも目を配りましょう。		
評価方法 発表の内容、及びその準備に費やした手間隙（プリントを見れば一目瞭然です）によって評価します。出席も重視します。他の受講生の発表を聞かないような失礼な人には、単位を出しません。		
テキスト 授業の最初に指定します。作品によって変更する場合もあります。	著者	出版社
参考書 授業中に随時紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1、講義 草双紙（黄表紙は、草双紙の一時期の作品群を指す名称です）の歴史。 2、 続き。 3、 続き。 4、講義 黄表紙の代表的作家とその作品。 5、 続き。 6、講義 注釈とはどのような行為か。（注釈は単純な作業などではありません） 7、模範発表・工具書紹介。 8、 続き。 9、受講生の発表、全員による質疑応答。その1『金々先生栄華夢』（キンキンセンセイエイガノユメ） 10、 " " "（最初の作品は時間がかかります） 11、 " " " 12、 " " " 13、 " " " 14、 " " " 15 夏休み前に、歌舞伎のビデオを観ましょう。歌舞伎の知識が、江戸文学の注釈には必須ということは、もうわかっているはずです。 16、受講生の発表、全員による質疑応答。その2『親敵忤腹鼓』（オヤノカタキウテヤハラツヅミ） 17、 " " "（私の大好きな作品です） 18、 " " " 19、 " " " 20、 " " " 21、 " " " 22、 " " "その3『江戸生艶気樺焼』（エドウマレウワキノカバヤキ） 23、 " " "（黄表紙の最高傑作と評されています） 24、 " " " 25、 " " " 26、 " " " 27、 " " " 28、 " " " 29、 " " " 30、 図書館で黄表紙のマイクロフィルムを見ましょう。その膨大さに、きっと圧倒されます。		